

熊本地震シンポジウム2017 プログラム (H29.4.14 時点)

4/22(Sat)

	9階 会議室 1	10階 パレアホール	10階
10:00)	スポンサードシンポジウム 1 (共催：プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社 / ファイザー株式会社) 震災時の災害関連疾患とその対策 ～今後の備えになにかが必要か～ 座長：安田 聡先生 / 掃本 誠治先生 1. てんかん / 脳卒中 2. 急性心筋梗塞 3. 脳神経外科疾患 4. 基調講演：東日本大震災の経験から 5. 肺塞栓 6. 神経筋疾患	シンポジウム 1 (主催：KEEP Project) 急性期からの医療救護と保健衛生活動 ～公衆衛生的な視点も必要ではないか～ 座長：前原 潤一先生 / 細川 浩先生 行政 医療政策課 松岡 正之氏 (熊本県健康福祉部) 保健所 木脇 弘二先生 (八代保健所) 災害コーディネーター 前原 潤一先生 (済生会熊本病院) 医療支援 DMAT 近藤 祐史先生 (厚生労働省 DMAT 事務局) 日赤 奥本 克己先生 (熊本赤十字病院) 保健衛生 DVT 対策 細川 浩先生 (熊本赤十字病院) WOC 伊藤 奈央氏 (熊本赤十字病院) ICT 東 陽子氏 (熊本赤十字病院) WATSAN 黒田 彰紀氏 (熊本赤十字病院) 看護協会 井手 州子氏 (熊本県看護協会)	市民対象のDVTエコー検診
12:30)	ランチョンセミナー 1 (共催：武田薬品工業株式会社) 座長：小島 淳先生 (熊本大学心不全先進医療共同研究講座) 特別講演 災害と高血圧 ～東日本大震災被災地での血圧管理～ 星出 聡 先生 (自治医科大学 循環器内科学部門)	ランチョンセミナー 2 (共催：MSD 株式会社) 座長：辻田 賢一先生 (熊本大学大学院生命科学研究所 循環器内科) 一般講演 自然災害時の糖尿病診療 本島 寛之先生 (熊本大学代謝内科糖尿病分子病態解析学) 特別講演 過去の震災の教訓から：今後の展望 福田 幾夫 先生 (弘前大学大学院 胸部心臓血管外科)	
13:40)	スポンサードシンポジウム 2 (共催：サノフィ株式会社) 各種団体の視点から振り返る熊本地震 座長：朔 啓二郎先生 / 小島 淳先生 話題提供：小島 淳先生 (心血管イベント予防) ○熊本地震の特徴について ○熊本地震での日本静脈学会の支援活動 ○日本循環器学会の対応 ○日本臨床衛生検査技師会の対応 ○被災地元医師会の復興へ向けて	シンポジウム 2 / ワークショップ (主催：KEEP Project) 医療調整本部の問題点 ～熊本市の活動から再考する～ 座長：橋本 洋一郎先生 / 長井 洋平先生 ・熊本市保健医療救護調整本部の問題点 ・熊本地震における DVT 班調整本部の経験と問題点 ・DVT 検診現場での問題点 ・災害における保健活動 ・熊本市 (保健所) の取り組みと見えた課題 ・熊本市北区の JMAT 活動および宮崎県の災害医療支援 ・熊本県医療救護調整本部の活動を踏まえた今後の課題	
15:20)	特別企画 (主催：KEEP Project) 熊本地震における行政の対応 座長：安田 聡先生 / 掃本 誠治先生 ○熊本県の取り組み ○阿蘇保健所の取り組み ○厚生労働省の取り組み	増永 純夫氏 (熊本県臨床検査技師会) 田中 すみ子氏 (熊本市健康づくり推進課) 浦中 信弘氏 (熊本市保健所医療政策課) 名越 秀樹先生 (都城医師会病院) 清住 雄希先生 (厚生労働省健康局)	
16:50	阿蘇保健所 所長 服部 希世子先生 厚生労働省保険局医療課 有賀 玲子先生	総合討論 1. 現場に足りなかったもの 2. 必要な取り組み 3. 今後の展望 まとめ	
10階 パレアホール			
17:00)	イブニングセミナー (共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社) 熊本地震における医療の反省と今後の課題 ～基幹病院での記録を振り返る～ 座長 辻田 賢一先生 (熊本大学循環器内科) / 野田 勝生先生 (熊本中央病院循環器科) / 掃本 誠治先生 (九州看護福祉大学 看護福祉学部) 話題提供：熊本市民病院 橋本 洋一郎 先生 1. 熊本県医師会 防災・救急災害担当理事：西 芳徳 先生 2. 阿蘇医療センター 院長：甲斐 豊 先生 3. 熊本赤十字病院 副院長：中島 伸一 先生 4. 済生会熊本病院 院長：中尾 浩一 先生 5. 熊本中央病院 副院長：大嶋 秀一 先生 6. 熊本医療センター 院長：高橋 毅 先生 7. 熊本市民病院 院長：高田 明 先生		
19:45)	意見交換会 場所：KKR ホテル熊本「まつり」 21:45		

4/23(Sun)

8:00 ┆ 9:00	AMED 班会議 場所：銀染コア
-------------------	-------------------------

	9階 会議室 1	9階 会議室 2	10階
9:30 ┆ 11:50	スポンサードシンポジウム 3 (共催：第一三共株式会社) 熊本地震での VTE 対策を考える ー将来のコンセンサス作りに向けてー 座長：坂本 憲治先生 / 橋本 洋一郎先生 1. 熊本地震 DVT 検診の初動とその効果 坂本 憲治先生 (熊本大学循環器内科) 2. 過去の災害 (東日本大震災) における DVT の推移と対策 植田 信策先生 (石巻赤十字病院 呼吸器外科) 3. 熊本地震での DVT 検診結果 木下 ゆい氏 (熊本大学医学部附属病院 中央検査部) 4. 過去の教訓は活かされたのか 榛沢 和彦先生 (新潟大学 心臓血管外科) 5. 日本と世界のエビデンスから 孟 真先生 (横浜南共済病院 心臓血管外科) 6. 理想的な DVT 対策について 山村 修先生 (福井大学地域医療推進講座) 7. 地域医療機関の活動 (県南地域での DVT 検診活動報告) 吉田 光宏先生 (八代群医師会立病院 院長) 8. KEEP から将来への提言 掃本 誠治先生 (九州看護福祉大学 看護福祉学部)	シンポジウム 3 (主催：KEEP Project) 被災後の慢性疾患患者に起きた問題点とその対策 座長：山下 太郎先生 (熊本大学神経内科) / 中島 誠先生 (熊本大学神経内科) 1. 熊本地震における神経難病患者の被災 高松 孝太郎先生 (熊本大学神経内科 神経難病診療体制構築事業) 2. 精神障がい者の被災 矢田部 裕介先生 (熊本県精神保健福祉センター) 3. 糖尿病患者へのサポート 本島 寛之先生 (熊本大学代謝内科 糖尿病分子病態解析学寄附講座) 4. 熊本糖尿病支援チーム (K-DAT) の活動に参加して ～現状の問題と課題への取り組み～ 水本 千代子氏 (水保市総合医療センター、 水保芦北糖尿病療養士会、熊本県看護協会) 5. 慢性維持透析患者の被災 久木山 厚子先生 (宇土中央クリニック、熊本県透析施設協議会) 6. 被災地の医療支援 慢性期の対応を主として 永田 晃平先生 (東熊本病院) 7. 在宅医療からみた被災状況 田島 和周先生 (田島医院) 8. 被災地のボランティアナースとして 山本 智恵子氏 (キャンパス熊本)	市民対象の DVT エコー 検診
12:00 ┆ 13:00	ランチョンセミナー 3 (共催：バイエル薬品株式会社) 座長：安東 由喜雄先生 (熊本大学大学院生命科学研究部神経内科) 熊本地震からの教訓と今後の震災医療に向けての提言 ー大規模災害時における抗凝固療法を含めてー 橋本 洋一郎 先生 (熊本市民病院 首席診療部長)	ランチョンセミナー 4 (共催：イーザイ株式会社) 座長：長沢 光章先生 (日本臨床衛生検査技師会 代表理事 副会長) 一般講演 震災時における適切な抗血栓療法とは 末田 大輔先生 (熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学) 特別講演 より有効な DVT 検診の方法について 山村 修 先生 (福井大学地域医療推進講座 講師)	

	10階 パレアホール		
14:00 ┆ 16:30	肥後医育塾特別版・熊本地震シンポジウム 2017 公開講座 エコミークラス症候群 ～災害時の命と健康を守るために～ (主催：公益財団法人 肥後医育振興会、一般財団法人 化学及血清療法研究所、熊本日日新聞社、熊本地震血栓症予防プロジェクト (KEEP Project)) 司会挨拶 遠藤 文夫氏 (肥後医育振興会常任理事) 座長挨拶 掃本 誠治先生 (九州看護福祉大学 看護福祉学部 教授) 小島 淳先生 (熊本大学心不全先進医療共同研究講座) 開会挨拶 米納 久美氏 (熊本市健康福祉局総括審議員) 田原 牧人氏 (熊本県健康福祉部健康局長) 小川 久雄先生 (国立循環器病研究センター理事長) 講演 1. 井 清司先生 (熊本県赤十字血液センター 所長、熊本県災害医療コーディネーター) 講演 2. 坂本 憲治先生 (熊本地震シンポジウム 2017 実行委員長、熊本大学循環器内科) 講演 3. 榛沢 和彦先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管外科呼吸器外科 講師) 講演 4. 英太郎氏 (タレント) 講演 5. 高本 文明氏 (熊本日日新聞社 編集局文化生活部長) 講演 6. 橋本 洋一郎先生 (熊本市民病院 首席診療部長、神経内科部長) 閉会挨拶 遠藤 文夫氏 (肥後医育振興会常任理事)		